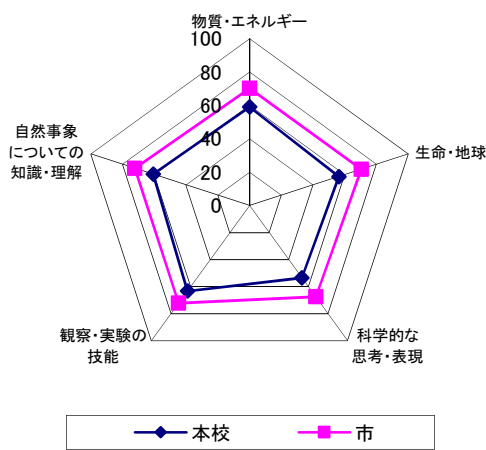


宇都宮市立宝木小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	59.0	70.3	69.0
	生命・地球	56.3	70.4	70.2
観点別	科学的な思考・表現	53.4	67.5	66.4
	観察・実験の技能	63.3	72.3	68.9
	自然事象についての知識・理解	60.7	72.3	71.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	本校の平均正答率は、市の平均と比べると低い。 ○ふりこの1往復の動きを考える問題について、市の平均よりも6.4ポイント低いが、正答率が8割を超えている。 ●水溶液の水を蒸発させることで溶けているものを考える問題の正答率は40%と、市の平均より25ポイント低い。	・どのような実験を行い、どのような結果であったのかは理解できているが、実験の中の条件が何のためにあるのか過程を理解できていない児童が多い。実験の過程1つ1つのもつ意味や理由を捉えた上で実験を行うことができるよう実験方法を重視する工夫をしていく。
生命・地球	本校の平均正答率は、市の平均と比べると低い。 ○発芽に温度が必要かどうかを調べる実験の条件を考える問題について、正答率が他の問題と比べるとやや高い。 ●観察した太陽と月の位置関係を考える問題の正答率は32.4%と、市の平均よりも25.7ポイント低い。	・実験を行う際、実験のねらいや実験方法の意図を理解できていない児童が多い。また、実験の示す結果を他の場合と照らし合わせることが苦手である。今後は、何を調べるために今回の実験をし、なぜこのような実験方法になるのかを考える学習形態を取り入れる。また、実験結果がどのようなことにつながるのか、学習に広がりをもたせられるよう工夫していく。

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの